

生薬ニュース

近畿大学東洋医学研究所附属診療所調剤室

今月のピックアップ

せんきゅう
川芎

センキュウとは・・・

センキュウ : *Cnidium officinale* Makino (セリ科) の根茎を湯通ししたものです。

センキュウ (川芎) という名前の由来ですが、もともと**芎藭** (きゅうきゅう) と呼ばれていましたが、特に四川省産のものは品質が良く有名であったため産地名を付けて**四川芎藭**と呼ばれそれが短くなり現在の**川芎**になったといわれています。

センキュウはもともと日本にはない生薬ですが、江戸時代に中国より持ち込まれ栽培されるようになりまし。現在では北海道で大規模に生産されています。実に国内需要のすべてを国産品で賄える、むしろ一部は輸出もされているという珍しい生薬です (通常ほかの生薬は中国から輸入することが多い) 。

【性味】 苦・温

【薬能】 活血理気、調経、止痛、疏肝解鬱、祛風湿、散寒



センキュウの成分と薬理作用・・・

センキュウは精油成分 (クニデリド、リグステリドなど) を 1~2% 含み、他にバニリン、フェルラ酸などが含有されます。その薬理作用は、鎮静・鎮痛、抗炎症や X 線障害による防護効果も報告されています。

薬能として、**センキュウ**は攻めるタイプの生薬として知られ、「走 (ゆ) きて守らず」と言われ、“血中の気薬”として使用されています。上記でも記した通り『活血理気』の作用が知られており、活血 = 駆瘀血作用であり、血管拡張、血行促進することで子宮筋の収縮・弛緩を調整することにより月経を調整し月経痛を改善します。

センキュウの生育と起源・・・

センキュウは上記でも述べた通り、もともと日本にはない外来種の生薬です。この植物は花が咲いても種子ができないタイプの植物 (不稔性 : ふねんせい) で、そのため栽培する際には、ジャガイモのように根茎の株分けという方法で栽培されます。聞いたことがあるかもしれませんが、この栽培方法では種子栽培される植物と違い、遺伝子情報が全く同じ植物が栽培できます。この点では**センキュウ**は品質管理がしやすく、容易に殖やすことができますが、違う視点に立つと、種子ができないことから、植物分類が非常に困難であることも意味します。朝ドラでもおなじみ牧野富太郎氏によ



り命名された *Cnidium officinale* ではありますが、最近の分子系統解析（遺伝子レベルでの解析）では、*Conioselinum officinale* に変更すべきである発表されました。現在の植物学では遺伝子解析に元づく分類が主流で、今後センキュウは名前が書き替えられる可能性のある植物です。

センキュウは生育が悪いと写真のように軸状に伸びた芯に小さい根茎がまばらについた『ソロバン手（で）』と呼ばれる不良品が生じることがあります。そろばんの玉とその軸みたいに見えますよね。○で示しているところがその箇所ですが、原因として、栽培の際に種芋を逆さまに植えるとソロバン手が増えるといわれています。

センキュウを含む方剤・・・

うんけいとう
温経湯（月経不順、月経困難、更年期障害、不眠、神経症など）

しもつとう
四物湯（産後などの疲労回復、月経不順、月経異常、更年期障害など）

そけいかっけつとう
疎経活血湯（関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛）

とうきしゃくやくさん
当归芍薬散（比較的体力が乏しく冷え性・貧血の傾向のある者の、月経不順、月経異常、更年期障害など）

センキュウの利用・・・

ここからはセンキュウの薬以外の使い道について紹介します。

- ① 魚釣りの餌：魚釣りをする際に餌にセンキュウ末を混ぜると、その香りに魚が集まってくるらしいですよ。
- ② 松にセンキュウ：松の木の元気がなくなったときに用いられることもあります。

使い方は、水1Lにセンキュウ50gを入れ半分に煮詰めます（煎じ薬を作るのと同じですね）。この液を松の根元周囲に散布し、根を円形に囲うように溝を掘り、煎じかすも均等にまきます。また余った煎じ液を十分量の水で薄め溝に沿って注ぎます。噴霧器で直接松の木にも散布します。これで、1年から1年半後には青々と新芽が出るようになるでしょう。もし元気のない松の木があるお宅はぜひ試してみてください。

